

はじめに

子どもたちの健やかな成長は、家族にとって大きな願いであり、社会にとっても次世代を担う大きな原動力としてきわめて大切なことです。

近年、わが国の子どもをとりまく環境は大きく変わり、また少子化は一層進行いたしております。本町におきましても、少子化傾向が続いており、21世紀を担う子どもたちの健全育成や、わが国の将来の社会経済に大きな影響を与えることが懸念される中で、子どもたちを安心して生み育てることができるようにすることは、地域づくりの基本であり住民の願いでもあります。

そのために大淀町は、子育て支援を重要施策の一つとして位置づけ、子育て支援の充実に努め、安心して子どもを生み育てることができるよう優しい地域づくりを目指し取り組んでおります。

この度、平成15年7月に制定されました「次世代育成支援対策推進法」により、急速な少子化の進行や、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される環境の整備を図るため「大淀町次世代育成支援行動計画」を策定いたしました。

この行動計画は、次世代育成支援対策につきまして、地域における子育て支援や、家族の健康の確保、また教育環境の整備などについて、平成17年度を初年度とした5か年の施策の目標を定めた計画です。

この計画に基づき、安心して子どもを生み育てることができる社会づくりを目指し、子どもの視点で、よりよい家族関係を築くと共に、地域社会の連携を一層密にした取り組みを推進して参りたいと考えております。

最後に、本計画の策定にあたりご尽力いただきました「大淀町次世代育成支援行動計画策定委員会」の委員の皆様に対し、心より厚く御礼を申し上げます。

平成17年3月